



外来管理治療棟建替等 整備工事について3

企画課長 西村 和彦

昨年より開始した新外来管理治療棟の工事も工期の半分以上が過ぎ、建物の基礎が完成し、骨格が出来てきました。今年冬のオープンに向けて現在工事が進んでいます。オープンからしばらくの間は仮設玄関での使用となりますが、現在の外来管理治療棟の解体が終わると下図のような玄関周りが見れる予定です。



- 建物概要 外来管理治療棟 (S造 地上3階建 延約7000㎡)
- 1階 各科外来、放射線科、医事室、地域連携売店
- 2階 手術室、中央材料室、薬剤部、検査科
リハビリテーション科
- 3階 医局、事務室、会議室、研究室 等



新人看護師研修

教育担当看護師長 金田 淳子

南京都病院（国立病院機構）では「看護職員能力開発プログラム」を基に集合研修や機会教育を通して段階的に学んでいきます。4月に採用された新人看護師も患者さんに必要な援助について集合研修を1回/月の割合で実施しています。今年度は集合研修と各部署との連携をより密にし、個々のペースに合わせて成長できるように取り組んでいます。

● 平成29年度教育計画（集合研修） ●

- 4月 看護技術演習（採血・酸素療法・ME機器）
- 5月 摂食嚥下障害のある患者の食事援助
移動援助
- 6月 リフレッシュ研修（一休寺座禅体験・信楽陶芸体験）
- 7月 フィジカルイグザミネーション
- 9月 フィジカルアセスメント
- 10月 コミュニケーション
- 11月 看護倫理
- 2月 1年間の振り返り

「5つの約束」

- 1人では悩ませません
 - 急がせません、焦らせません
 - ひとつ一つ丁寧に説明します
 - 1人でできるまで見守ります
 - そして共に成長しましょう
- という5つの約束をモットーに
新人の皆様の成長を支援しています



シミュレーターを使った看護技術講習：採血（4月）



摂食嚥下障害患者の食事介助（5月）



リフレッシュ研修：陶芸体験（6月）



フィジカルイグザミネーション：腹部の聴診（7月）

ふれあい看護体験

外来・手術室師長 永井 里香

当院では毎年7月末に近隣の高等学校に在学する生徒に対して、看護に興味を持ち進路の参考にして頂く機会として「ふれあい看護体験」を行っています。今年は2名の生徒の方に参加して頂きました。病院では看護師だけでなく様々な職種があり、多くの人が連携して働いています。栄養科、リハビリテーション科、放射線科、薬剤科、検査科などの色々な部署を見学して頂きました。看護体験では血圧、脈拍測定やAEDを使っでの救命処置、看護師と一緒に清潔援助をするなど実際に患者さんと触れ合う機会を持ちました。また、病院食も体験して頂きました。今回の体験を通して生徒の方からは「病院食がすごく美味しかった。病院を実際に見学して良かった。患者さんとお話できたことはすごく印象に残る良い経験となった。看護師になりたいと強く思うようになった。」との声を頂きました。



①リハビリ説明



②院長先生と記念撮影



③足浴を体験



リフレッシュ体操について

契約係長 中田 純也

当院では、職員の健康増進を目的に、今年の3月より、リフレッシュ体操を始めました。内容は、外部よりインストラクターを招いて、体ほぐしの運動を中心とした簡単なトレーニングやストレッチを行うことで、普段、運動する機会が少ない職員に、心身ともにリフレッシュしてもらおう、というものです。

毎回、ミニボールやマットを使ったストレッチで、皆さん汗をかきながら楽しく運動されています。普段使わない筋肉を動かすことで、簡単にトレーニングできるとあって、職員からも好評を得ています。

今後も、職員の健康維持のため、リフレッシュ体操を継続していきたいと考えています。



地域医療に力を傾けておられるみなさまをご紹介します

患者さん中心の医療を考える診療を心がけています

伊勢村医院

内科

院長 伊勢村 卓司 先生



昭和44年府立医科大学を卒業し、府立医大附属病院第二内科研修医、修練医、学内講師を務めた後、昭和58年に同級生3人で城陽寺田に50床のほうゆう病院を始めました。

そこで、5年間院長を務めた後独立し、平成元年10月大久保に有床診療所を開設し12年間続けた後、現在の城陽近鉄の寺田駅近くに移って、内科医院を開業しました。

有床診療所時代に、92歳のおばあさんの往診を頼まれた時、ほとんど食事も水分も摂れていない状態で、持続的な点滴が必要なので入院を勧めました。

しかしご家族は、このまま診察だけをお願いしますと言われました。それを受け入れて、毎日診察に行きました。そして、一週間で安らかに永眠されました。

その頃、尊厳死協会の会長さんと親しくなり、その影響も受けて、人の終末期の治療についての考えが大きく変わりました。

そしてその頃、患者さん中心の医療を考える診療理念が生まれました。「PCA：パーシェントセントード治療」と「NBM：ナラティブ・ベイスト・メディシン」という考えです。ここでは、患者さんの話に耳を傾け、患者さんの想いの全てを聞き出し確認して、それに対して医師としての考えを、一方的に押し付けるのではなく、分かり易く伝えて、患者さんと医師との考えのすり合わせをしていくという診療方法です。

私は75歳になった今、ようやくこの診療理念にたどり着いて、3分診療ではなく、十分時間をかけて患者さんの話を聞き、患者さんの考えを尊重した医療を行っています。そして、木曜日は診療を休みとして、朝10時から昼3時過ぎまで、自宅でディサロンを開いて、カラオケやパッチワーク、抹茶を点てて楽しみながら、医療相談も受けています。3分診療に不満な方は是非来てみてください。

南京都病院には、呼吸器内科、神経内科、小児科が充実し、呼吸器内科では肺結核の診断と非結核性抗酸菌症との鑑別診断、睡眠時無呼吸の診断と治療で、神経内科では認知症の診断と治療でお世話になっています。もっと南京都病院のいろんな先生方の専門とされていることを知って連携を広めていきたいと思っています。

■ 城陽市寺田尺後51-14
■ TEL 0774-56-3290
■ FAX 0774-56-3292

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
午前診 9:00~12:00	○	○	○	×	○	○	×
午後診 17:00~19:30	×	×	○	×	×	×	×

■ 水曜夜診は要予約(当日午前診まで)

■ 休診日 日曜日・祝祭日



地域を支え、地域に支えられる訪問看護ステーションを目指します

訪問看護ステーション ひまわり

訪問看護

私たちの「ひまわり」は昨年5月に久御山町に移転した京都岡本記念病院の訪問看護ステーションです。病院は移転しましたが「ひまわり」は変わらず宇治市神明の地で活動しています。看護師10名、理学療法士5名、事務員1名の体制で宇治市、城陽市、久御山町等約190名の方に利用して頂いています。様々な疾患のあらゆる状態の方が安心して在宅生活を継続できるよう看護とリハビリで支援させていただきます。「やっぱり家が一番だ」と実感して頂ければとの思いで毎日頑張っています。



2025年にむけて地域包括ケアシステムは高齢者を中心に住み慣れた地域で安心して暮らし続けることを推進しています。それには医療・介護・福祉の一体化が必要です。訪問看護ステーションは在宅での医療・看護・リハビリの重要な役割を担っているのみならず介護や福祉の知識、技術を兼ね備えていることが強みです。地域包括ケアシステムの多職種協働の中でリーダーシップが発揮できるよう努力を続けて参りますのでこれからもどうぞよろしくお願いたします。

■ 宇治市神明石塚54-18
■ TEL 0774-46-1711
■ FAX 0774-46-2213
■ 営業日・営業時間

平日 午前8:30~午後5:00

定休日 土曜日・日曜日・祝日

※(24時間緊急対応可能)



「療育指導室」のお仕事

主任児童指導員 藤井 鈴子

当院は「南京都病院」という名の通り、医療機関ではありますが、実は重度の障害をお持ちの方々へ向けて「療養介護事業・医療型障害児入所支援・短期入所事業・通所事業」等の福祉サービスを提供する事業所としての側面ももっております。療育指導室は、そういった福祉サービスを利用される重度の障害をお持ちの方々へ向けた福祉の窓口として、また、QOL向上への支援やサービス調整を行うために存在する部署です。福祉の専門職である児童指導員と保育士が従事しています。今回は、療育指導室のお仕事について詳しく紹介させていただきます。

【日中活動支援（療育・季節行事）の展開】

病棟に入所されている方々や、通所を利用されている方々が彩り豊かな生活を送れるように、季節を感じることでできるような行事の企画や、年齢に応じた各種療育活動の提供を行っています。

※誕生会、クッキング活動、散策、音楽療育、クリスマス会、遠足 etc…



【入所支援・短期入所支援・通所支援のコーディネート】

当院の福祉サービスを利用したいというご希望がある際には、療育指導室が窓口となり見学の対応や、利用希望の調整を行います。

※入所支援：重症心身障害児者及び、ALS等神経筋難病の方へ個別支援計画書に基づき、日常生活の支援をしながら治療や健康管理等を行います。「生活の場」を提供するサービスです。

※短期入所：在宅で生活されている重症心身障害児者の方が、2泊3日等短い期間、当院の重症心身障害児者病棟にて、日常生活の支援や医療ケアを受けながらお泊まりをするサービスです。

※通所：在宅で生活されている重症心身障害児者の方が、日中（10:00～16:00）を安心して楽しく過ごすためのサービスです。

【利用者・ご家族・成年後見人への相談業務】

「こんなことがしてみたい」「この福祉制度がわからない」「こういうサービスを利用できるところを紹介してほしい」等々、生活の困り事を始めとして、福祉サービスに伴う相談をお受けいたします。

【医療施設、福祉、教育など諸機関との連絡窓口】

地域の医療機関や福祉事業所、支援学校、各市町村の福祉課等との連携を図り、必要な支援がスムーズに提供できるよう努めています。地域のネットワーク会議やケース会議にも積極的に参加いたします。

【補装具、日常生活用具に関する相談、手続きのサポート】

「新しい車椅子を作りたい」「身体をしっかり支えることのできるコルセットはないかな」「自分の意思を伝えるためのパソコンが欲しい」等々、理学療法士や作業療法士、車椅子業者等と協働し、ご本人がより快適に生活していく上で必要なものを整えるためのサポートを行います。

【ボランティア及び地域との交流作り】

ボランティアの方々のお力もお借りして、楽しい時間を提供します。地域と繋がった病院を目指し、地域との橋渡し役を担っています。



どんなに重い障害をお持ちの方でも、その人らしく「キラリ」と光る人生を送っていただけるように、少しでも快適・安楽に過ごしていただけるよう、努力してまいります。

福祉に関するご相談は、療育指導室までお問い合わせください。

『健康フェア』を開催します

南京都病院は地域の皆さんの健康増進のお役に立ちたいと思っています。

『健康フェア』～笑顔は健康なからだから～開催します

日時 平成29年10月7日(土) 10時～16時

場所 アルプラザ城陽 1階プラムコート

内容 骨密度測定・血圧測定・呼吸機能検査・血管年齢測定・
キッズ写真コーナー・もの忘れチェック等 (無料)



交通のご案内



- 近鉄京都線 新田辺から 京阪宇治バス約15分
- JR学研都市線 京田辺から
- JR奈良線 山城青谷から 徒歩20分

＊...各駅より送迎車あり

診療科のご案内

- | | | |
|---------|--------------|-----------|
| ● 呼吸器科 | ● 神経内科 | ● 小児科 |
| ● 内科 | ● 外科 | ● 消化器科 |
| ● 呼吸器外科 | ● 循環器科 | ● 整形外科 |
| ● 皮膚科 | ● リハビリテーション科 | ● 放射線科 |
| ● 麻酔科 | ● 歯科 | ● 耳鼻いんこう科 |
- (入院患者のみ対象) (入院患者のみ対象) (休診中)

独立行政法人国立病院機構 南京都病院

(当院は在宅療養あんしん病院に登録しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください)

〒610-0113 城陽市中芦原 11 番地
TEL.0774-52-0065 FAX.0774-55-2765
URL <http://mkyoto-hosp.jp/>

地域医療
連携室

- ダイヤルイン 0774-52-0114 (内線 231)
- 直通 FAX 0774-58-0270
- E-mail renkei@mkyoto.hosp.go.jp